

[特集]

P2 - 5

思いこみだらけの
育児を
アップデートする!!



はじめてのいくじ ●【初めての育児】

誰しも、初めての育児には戸惑うものです。でも、お腹を痛めて産んだママなら大丈夫！

自然分娩した女性でないと育観できないということ？

そとあそび ●【外遊び】

赤ちゃんの生活リズムを整えるために、ママと一緒に外遊びをたっぷりしましょう。

やぱぱ)



*イラストも全体的にも
ママばかりで大丈夫？パパはどうした？



(記事)

P6

女性が活躍する企業の取り組み
佐々木塗料株式会社

P7

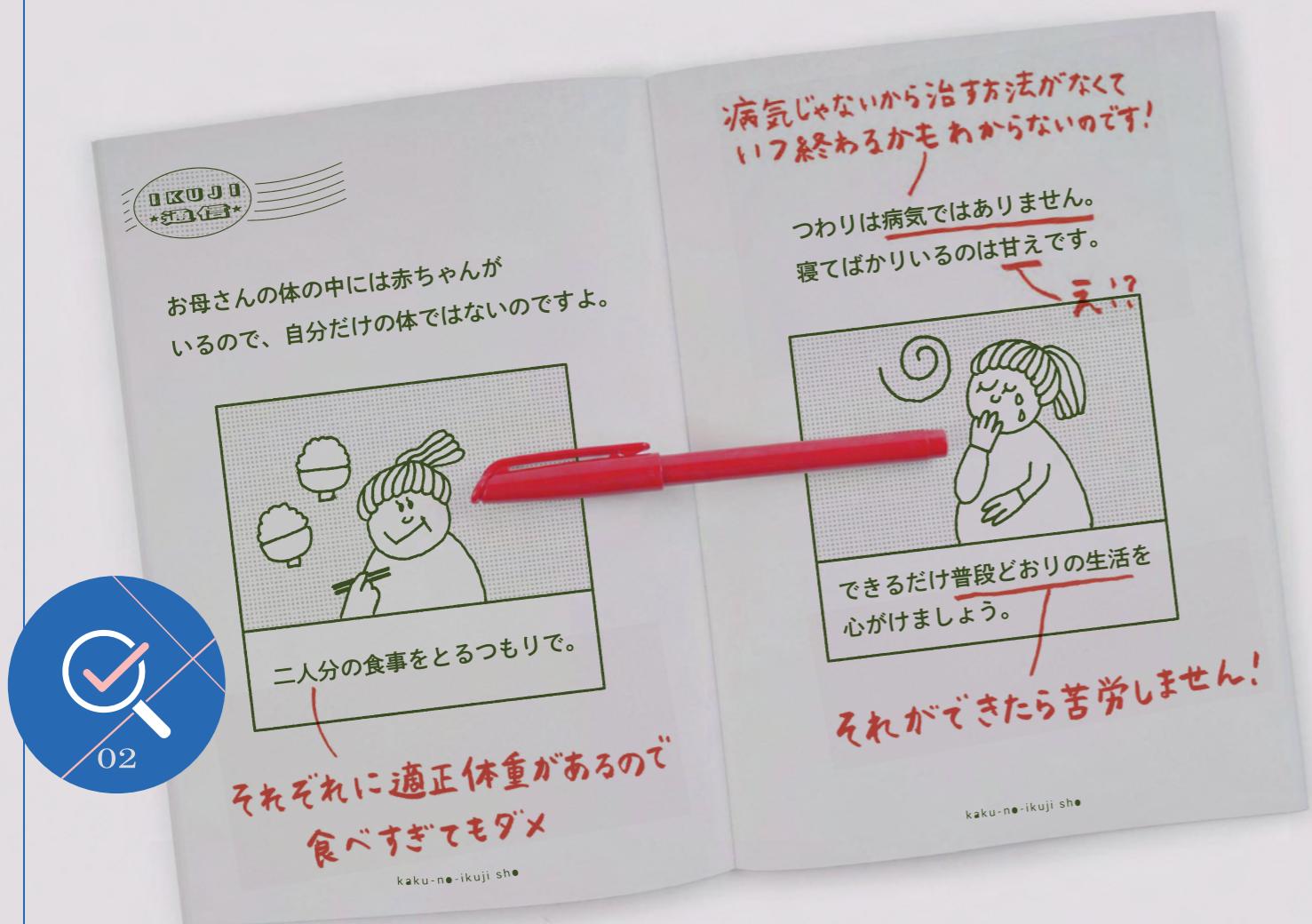
気になるあの人に会いに
合同会社浜と山と
風間一恵さん

(マンガ)

P8

子どもを通して気づく
ジェンダーバイアス





「母性愛神話」を信じすぎていませんか？

「自然分娩じゃないと母性が育たない」「赤ちゃんはお母さんが大好きだから、お母さん抱っこじゃないと泣き止まない」「子どもが3歳になるまでは母親の手元で育てるべき」「子どもを産み育て、近くすことが女としての生きがいであり喜びである」——。そんなふうに言われたことのある母親は、きっと少なくありません。産む能力を持つていても、女性には母性が備わっており、乳を与えて育てることこそが自然であるとされてきました。母親が育児に専念するものが古来から続く文化だとう主張もありますが、かつては地域ぐるみで子育てするのが当たり前で、農家の嫁は母であることよりも労働力を期待され、祖父母に育児を託していました。

父親は外へ働きに出で、母親が育児に専念すべきという考えが日本で生まれたのは、資本主義が導入された大正時代の半ば頃からといわれています。職住が分離され、都市に働きに出る労働者が増えたため、「男性は外で働き、女性は家を守る」ことは資本主義体制を維持するため必要でした。この頃から、「母親が子育てに専念することが本来の育児である」といった主張から娘へとすり込まれていきました。社会的背景から生まれたこうした教えが、「母性愛神話」となって母親たちを縛るものとなってしまっています。

かつて呪いをかけられた母親たちへ

筆者が古本屋さんで見つけた、2005年発行の育児書をめくると、「赤ちゃん、子どもが一番影響を受けるのはママです」「ママがイライラすると子どもにも伝わります」など、母親たちをことさら脅すようなことが書かれています。一人で子育てに専念していたら、一番長く子どもと一緒にいるのはママなのだから、その影響を受けるのは当たり前。イライラするのだって、ワンオペだからではないのか。今読むと疑問に思うことばかりです。「こうした表現は、近年の育児書では見かけなくなりましたが、かつてそんなふうに言われて子育てをしてきた女性は、現役で子育てをしている後輩たちに同じように声をかけてしまうのではないでしょうか。そうした思いこみだらけの育児をアップデートすることで、現役世代の苦しみを少しでも減らすことができるかもしれません。

祖父母に育児を託していました。父親は外へ働きに出て、母親が育児に専念すべきという考えが日本で生まれたのは、資本主義が導入された大正時代の頃からといわれています。職住が分離され、都市に働きに出る労働者が増えたため、「男性は外で働き、女性は家を守る」ことは資本主義体制を維持するために必要でした。この頃から、「母親が子育てに専念することが本来の育児である」といった主張

ワンオペだからではないのか。今読むと疑問に思うことばかりです。こうした表現は、近年の育児書では見かけなくなりましたが、かつてそんなふうに言われて子育てをしてきた女性は、現役で子育てをしている後輩たちに同じように声をかけてしまうのではないかでしょうか。そうした思いこみだらけの育児をアップデートすることで、現役世代の苦しみを少しでも減らすことができるかもしません。

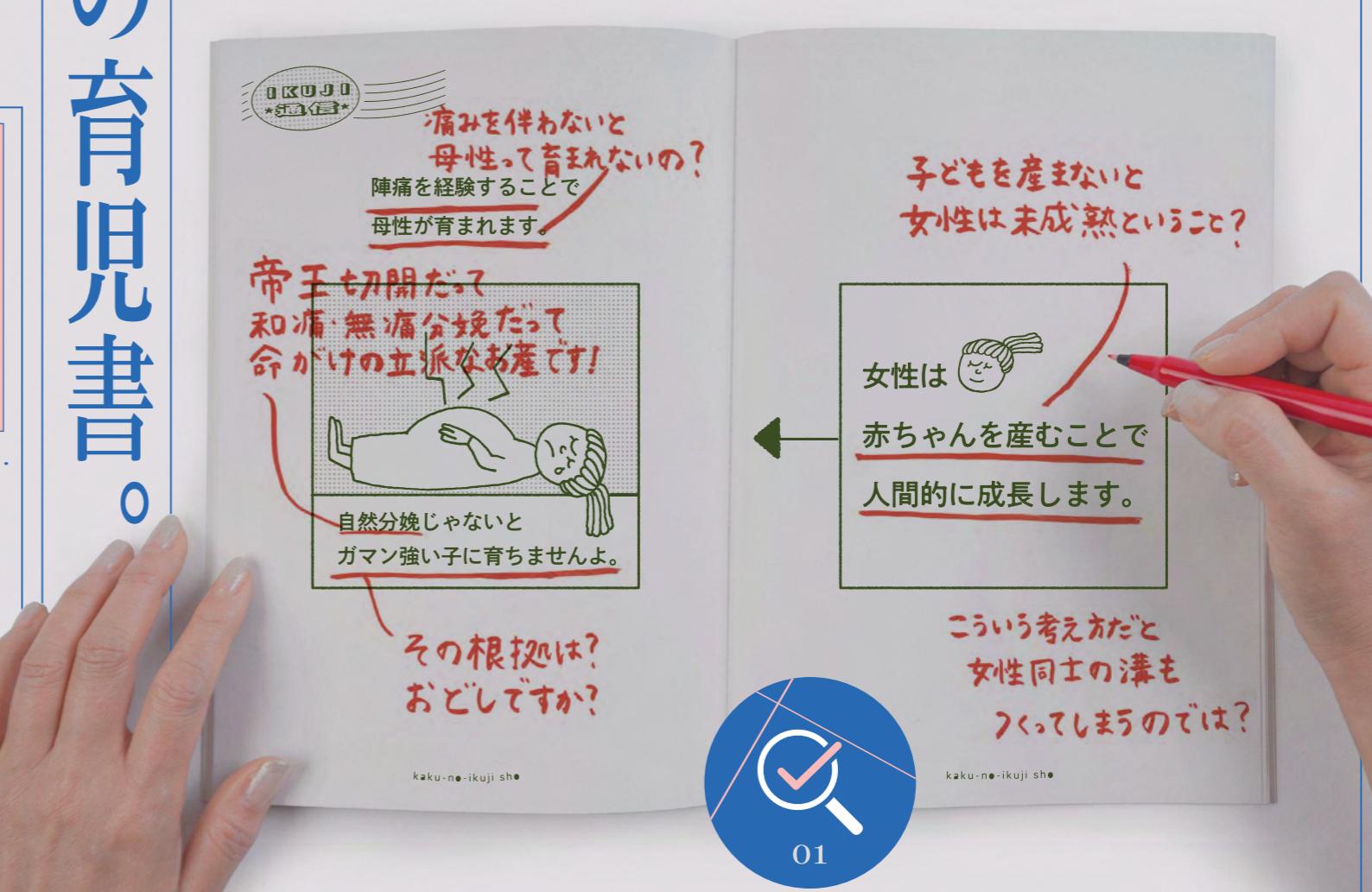
育たない」「赤ちゃんはお母さんが大好きだから、お母さんを抱っこじゃないと泣き止まない」「子どもが3歳になるまでは母親の手元で育てるべき」「子どもを産み育て、尽くすことが女としての生きがいであり喜びである」——。そんなふうに言われたことのある母親は、きっと少なくありません。産む能力を持つている女性には母性が備わっており、乳を与えて育てることこそが自然であるとされました。母親が育児に専念するものが古来から続く文化だとう主張もありますが、かつては地域ぐるみで子育てするのが当たり前で、農家の嫁は母であることよりも労働力を期待され、

え、その考えは、母から娘へとすり込まれていきました。社会的背景から生まれたこうした教えが、『母性愛神話』となつて母親たちを縛るものとなつてしまっています。

こんな育児書はイヤだ 思いこみだらけの育児を アップデートする!!

かつて母親たちが教えこまれてきたこと、
声をかけられてきたこと、
そして社会通念としてあったこと。

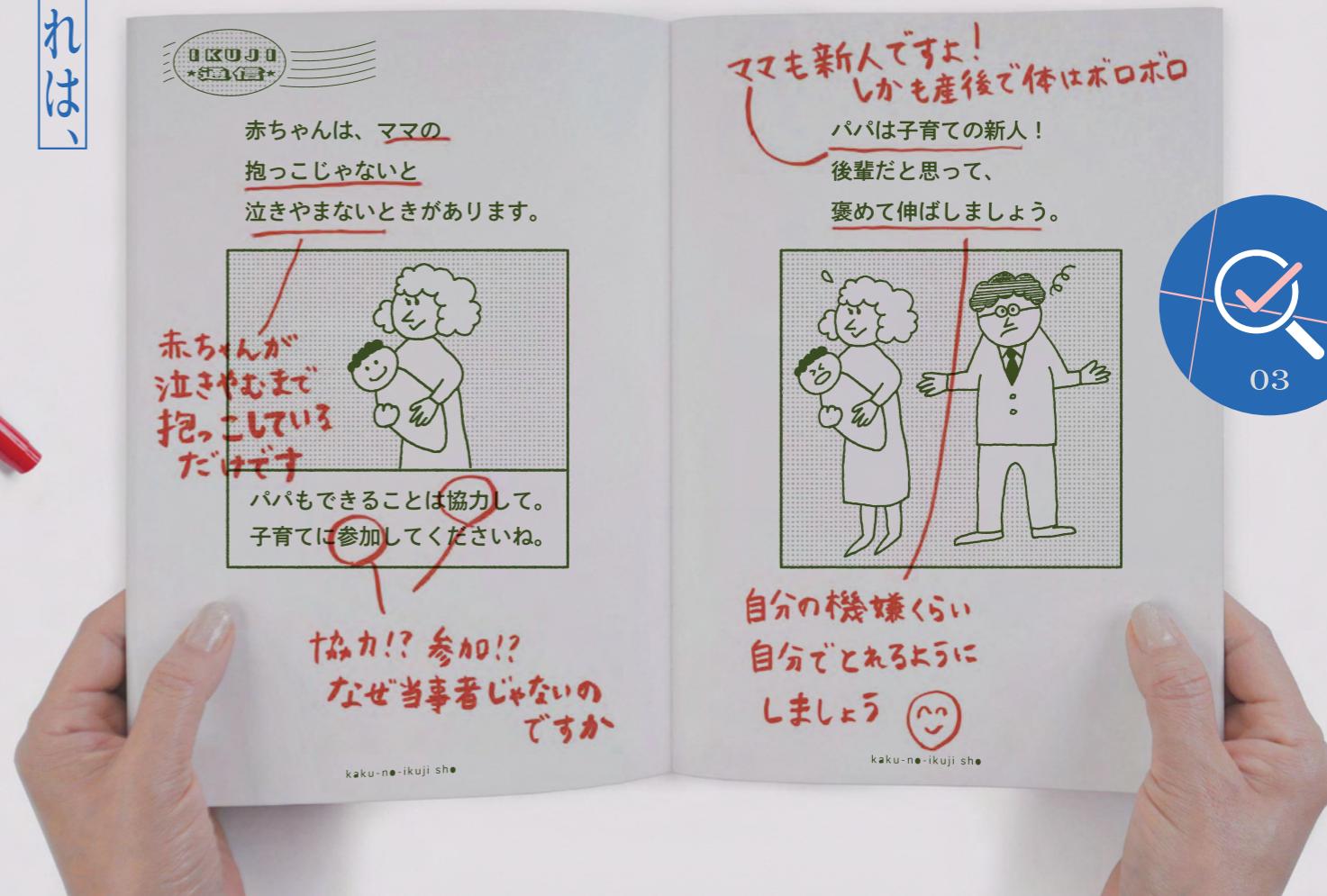
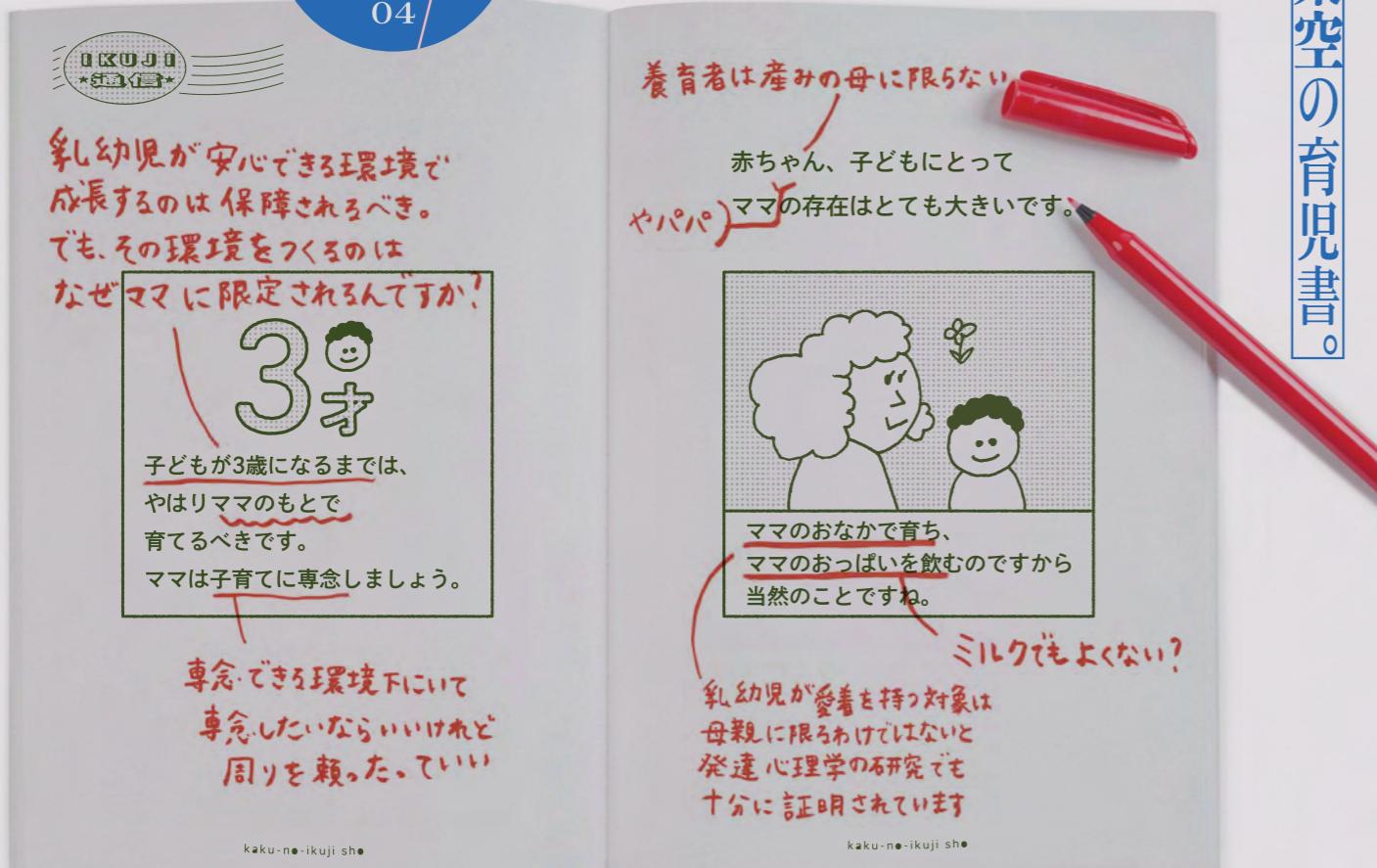
もしかしたら今でも
こんなふうに思いこんでいる人もいるのでは?
あらためて、
過去の価値観に赤ペンを入れてアップデートし





04

思いこみだらけの育児をアップデートする



**父親の関わり方も
変わってきた？**

同じくらいの月齢の子と成長を比べたり、キラキラした育児をしているママと比較したりして落ち込む人が多いんです。今のお母さんたちは情報過多で取捨選択が大変だし、気を張っちゃうんでしょうね。親との同居が当たり前だったおばあちゃん世代は、家のなかにいっぱい人がいて、お手伝いや家事の援助をしてもらいました。でも、ママたちのおばあちゃん世代は働いていることが多くて、ずっと援助してもらえるわけじゃないから、出産して退院したら、すぐに家事育児をがんばります。ママたちはもう十分にがんばっているんだから、もっと力を抜いていいんですよ。

プロフィール
小笠原加奈さん
すくすく親子健康課主幹母子

プロフィール **小笠原加奈**さん

すくすく親子健康課主幹母子保健グループリーダー。保健師として20年以上勤務している。

2015年刊『増補 母性愛神話の罠』
日本評論社（ニコ子の科学叢書）

日本評論社（こううのけいじやく）／久保田雅美

2006年刊 | たまひよ新・基本シリーズ病気とホームケア
ベネッセコーポレーション

illustration : Yuka Yagami
text & edit : Chihiro Kurimoto

両親学級や保健指導のときにも、男性側が率先して『こういうときはどうすればいいんですか?』『離乳食は何を食べさせればいいですか?』って聞いてくれるので、お父さんたちも熱心に勉強しているなって思います」もしかしたら、いまだに母親ばかりが育児を押し付けられていると思い込んでいたのは筆者のほうだったのでしょうか。「子育てに参加する」とか、「家事を協力する」といった発想自体が、「夫婦ふたりで当たり前にやること」とアッピーデートされているのだとしたら、この特集自体が古い情報になるのかも。そうだからいいいな!

「十分がんばっているから
もっと力を抜いていい」

保健師さんは育児の変遷をどう見てきた？

「十分がんばっているから
もっと力を抜いていい」

60歳を過ぎても、自分の人生を楽しく生きていたい。



気なる
風間さん

地域で自分らしく働き、暮らす人にお話を聞きました。

KAZAMA ICHIE

プロフィール

合同会社 浜と山と 役員

風間一恵さん

八戸市出身。2016年にUターンし、インナーシップやふるさと兼業のコーディネートに携わる。長苗代にあるコワーキングスペース「風笑堂」の運営も行う。

離婚することになりました。
その後、彼がはじめた事業構築することはできず、結局をスタートしたのですが、再構築することになりました。

その後、彼がはじめた事業の拠点の名古屋で二人暮らしを始めたのですが、再構築することはできず、結局離婚することになりました。

この経験をヒントに、この地域での暮らしを楽しみながらスキルをシェアできる仕組みがありました。

私は岐阜県のNPOに勤め、大学生のインターンシップなどを支援していたので、離婚後も2年ほどそこで働いてから、2016年に八戸へUターンしました。前職の経験を生かし、コミュニケーション能力の高まりのような人たつて任せるようになりました。

また、社員の働きやすい環境を整えるために取り入れたのは、時間単位の有給休暇や、リモート出勤といった制度。

text & edit : Chihiro Kurimoto

誰かの人生じやなく、
自分の人生を生きる。

私は岐阜県のNPOに勤め、大学生のインターンシップなどを支援していたので、離婚後も2年ほどそこで働いてから、2016年に八戸へUターンしました。前職の経験を生かし、コミュニケーション能力の高まりのような人たつて任せるようになりました。

また、社員の働きやすい環境を整えるために取り入れたのは、時間単位の有給休暇や、リモート出勤といった制度。

text & edit : Chihiro Kurimoto

「自分の人生」で
やりたいことを問われて

八戸で楽しく生きるために
必要なものって?

私が自身は、35歳くらいから結構、ローカル「ミニユーティング」と「風わらうラボ」や、コワーキングスペース「風笑堂」、法人組織「合同会社浜と山と」を立ち上げました。風笑堂にはクリエイターや大学生、子連れなどさまざまな属性の人が出入り、課題や困りごと、楽しいことなどを共有する、ローカルコミュニティーションの拠点となりつつあります。

text & edit : Chihiro Kurimoto

若手社員が働きやすい環境を目指したら、女性の働きやすさにつながった。



取り組む
佐々木さん

働く女性が安心してキャリアを重ねられる職場って?

SASAKI YU

プロフィール

佐々木塗料株式会社 代表取締役社長

佐々木悠さん

佐々木塗料株式会社
1951年創業の、塗料と周辺機器の専門商社。建築用、工業用、自動車用をはじめ、幅広い塗料を扱う。塗装工事や設備設置工事、EC販売も行う。

男性の多い業界で
女性が働くということ

「小さい子どものいる事務員が多いこともあります。『一時間だけ仕事を抜けたい』『チュエーションがある』という声を受け、時間単位で有給休暇と一緒に、3代続く佐々木塗料株式会社があります。男性が多い建築資材業界ながら、同社では女性社員の割合が増えているそう。代表の佐々木悠さんは2023年に事業を引き継ぎましたが、もともと女性が活躍しやすい社風があつたといいます。

「父の代から社内は実力主義。管理部門長は女性社員が長年務めていました。現任も社員の3割以上が女性で、そのうち半数以上が管理職を含む役職に就いています」

text & edit : Chihiro Kurimoto

「父の代から社内は実力主義。管理部門長は女性社員が長年務めていました。現任も社員の3割以上が女性で、そのうち半数以上が管理職を含む役職に就いています」

「父の代から社内は実力主義。管理部門長は女性社員が長年務めていました。現任も社員の3割以上が女性で、そのうち半数以上が管理職を含む役職に就いています」

「父の代から社内は実力主義。管理部門長は女性社員が長年務めていました。現任も社員の3割以上が女性で、そのうち半数以上が管理職を含む役職に就いています」

福利厚生を手厚くしたら
女性が働きやすい環境に

「小さい子どものいる事務員が多いこともあります。『一時間だけ仕事を抜けたい』『チュエーションがある』という声を受け、時間単位で有給休暇と一緒に、3代続く佐々木塗料株式会社があります。男性が多い建築資材業界ながら、同社では女性社員の割合が増えているそう。代表の佐々木悠さんは2023年に事業を引き継ぎましたが、もともと女性が活躍しやすい社風があつたといいます。

「父の代から社内は実力主義。管理部門長は女性社員が長年務めていました。現任も社員の3割以上が女性で、そのうち半数以上が管理職を含む役職に就いています」

text & edit : Chihiro Kurimoto



育児マニガ 子どもを通して気づく ジェンダー・バイアス



illustration : Chihiro Hasegawa

八戸市からのお知らせ 附属機関の委員を募集! あなたの声を「まちづくり」に反映させてみませんか?

八戸市では、重要な施策やまちづくりの仕組みなどを決定する場合、市民や関係者、専門家などで構成する会議を開催し、市民の皆さんとともに検討を進めています。また、より幅広い意見を反映させるため、委員の公募を実施しています。

公募情報の詳しいことは、募集時期に合わせて広報はちのへや市ホームページなどでお知らせするほか、「公募委員候補者登録制度」の登録を受けた方には、直接メールなどで情報提供を行っておりますので、ぜひご活用ください。

皆さんの積極的なご応募をお待ちしています!

公募・登録制度に関する問合せ

八戸市 総務部 行政管理課
TEL:0178-43-2150 FAX:0178-45-2077
✉ gyosei@city.hachinohe.aomori.jp
市ホームページ内で「附属機関 委員公募」を [検索]

「DVかな?」と思ったら、 一人で悩まず相談を!

八戸市配偶者暴力相談支援センター

TEL:0178-38-7339 9時 ~ 17時
(土日祝日を除く)
メール相談も受付けています

DVホットライン(青森県女性相談所)

TEL:0120-87-3081 24時間受付
※令和6年4月から「青森県女性相談支援センター」に名称変更予定

DV相談ナビ #8008

DV相談+ TEL:0120-279-889

24時間受付
10か国語に対応